

JA全農育成の水稻良食味品種「はるみ」について

1. 「はるみ」の育成経過

- (1) 平成 7 年：コシヒカリとキヌヒカリを両親として交配
- (2) 平成 21 年：品種登録出願
- (3) 平成 26 年：品種登録

図表 1. 来歴

時 期	内 容
平成 7 年	営農・技術センターにて「コシカリ」と「キヌカリ」の人工交配を実施
平成 10 年	F1 世代を養成
平成 11 年	F2 世代で無選抜栽培
平成 12 年	F3 世代で個体選抜
平成 13 年	F4 世代で単独系統選抜、以後系統育種法にて選抜・固定
平成 15 年	F5 世代に「セー197」の系統番号付す
平成 17 年	F8 世代に「湘南 6 号」の系統名を付す

2. 「はるみ」の主な特性

- (1) 食味はキヌヒカリより優れ、コシヒカリ並みの良食味米
- (2) 短稈で倒伏に強く、キヌヒカリより多収
- (3) キヌヒカリより整粒が多く、心白・乳白粒が少ない
- (4) キヌヒカリと比べ穂発芽しにくい

図表 2. 生育・収量成績

品種 系統名	出穂 月.日	成熟 月.日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	精玄米重 kg/a	比較比率 %	千粒重 g	倒 伏
はるみ	8.09	9.17	80	18.3	365	58.7	116	21.5	0.7
キヌカリ	8.09	9.17	84	17.4	326	56.6	112	21.3	0.0
コシカリ	8.09	9.17	92	19.1	352	50.7	(100)	20.4	3.0

(平成 16～18 年、全農 営農・技術センターにおける栽培成績の平均値)

図表 3. 食味官能検査成績

